

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	681-1 川上種生線道路改良事業	会計	01	一般会計
		款	08	土木費
		項	03	河川費
基本 施策	15 自然災害等への十分な備えをする	目	04	ダム関連整備費
		細目	358	ダム周辺整備事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	53	川上種生線道路改良事業
担当部課	コード	191000	担当者	43 - 2329
	名称	産業建設部 建設2課	氏名	岩野 庄司 連絡先 (内線) 254

事業事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	川上ダム周辺地域の住民	※対象件数
成果(どうする)	川上ダム事業による生活機能及び生活環境の影響が緩和される。	
根拠法令・要綱等	淀川水系前深瀬川川上ダムに係る水源地域整備計画(平成9年4月15日総理府告示第12号)	
開始年度	平成 20 年度	関連事業
終了年度	平成 27 年度	水源地域対策特別措置法に基づく水源地域整備計画で、水資源機構及び三重県が実施する事業
H22 事業 内容	付替県道青山美杉線の線形変更に伴う概略設計の修正設計	
社会情勢 の変化等	下流負担金の物価の変動に伴う各年度の価格に変換した額が平成20年度確定し、その結果、返納する必要があるため、川上ダム周辺整備事業基金からの繰入額の変動がある。現在の繰入率 55/100 (補助残に対する率)	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	伊賀市 種生・川上地内
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	道路延長 L=870m
4 総事業費	400,000 千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事業事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
改良延長	m	目標	0	0	0	200
		実績	0	0	0	
		目標				

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
事業進捗率	%	執行事業費÷全体事業費	目標	21	2	6	41
			実績	0	1		
			目標				

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金	0	410	23,570	143,500
	県支出金			12,650	77,000
	地方債				
	その他			10,920	66,500
	一般財源	0	410	0	0
事業投入人件費(B)		0人	0.1人	720人	7,200人
フルコスト(A)+(B)		0	1,130	30,770	150,700

事業事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
有効性	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	○
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】 県道青山美杉線のルートが決定したことから、早急に地元へルート説明を行い測量設計業務及び用地交渉を行う。	○
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	生産管理用道路の工事用道路施工工程との調整を行う
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事業事業がある。	
効果性	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	用地取得困難な土地については、本市道ルート選定において避ける方向で作業を進める。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいない 【詳細】 生産管理用道路に係る工事用道路計画との調整に時間を要した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	中井 秀幸
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 県道青山美杉線のルートが決定したことから、早急に地元へルート説明を行い測量設計業務及び用地交渉を行う。
現時点における課題、その他	概略設計において、道路の縦断勾配が設計基準の上限値ぎりぎりの箇所がある。この為、実施設計においてはこの値を少しでも緩和できるような検討を行い、設計を進める必要がある。
課題、その他に対する改善策	県道青山美杉線のルート決定が遅れたことから、事業着手が予定より遅れている。川上ダムの完成年度に合わせて道路整備を完了させる計画であることから、事業の進捗を急ぐ必要がある。
(いつまでに、何を、どうする)	